

木造住宅合理化システムの認定結果について

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

1. はじめに

木造住宅の振興を図るため様々な対応策が講じられておりますが、その一つとして、木造住宅の受注・設計・生産・供給の合理化が強く求められております。

当センターにおいては、合理化した木造住宅の生産供給システムを対象とした「木造住宅合理化システム認定事業」を平成元年から実施し、前回までに948システムを認定しました。これまでに認定されたシステムを使って供給した住宅は、累計で70万棟になります。

2. 認定の対象

次の二つのタイプを認定の対象とします。

①基準性能タイプ：木造軸組工法による住宅を生産・供給することができる合理化されたシステム

- イ 生産・供給において合理化された提案があること
- ロ 性能が建築基準法施行令の関係法令及びフラット35の関係技術基準に適合していること
- ハ 規模・平面・立面に選択性を有すること
- ニ 供給後に長期性能保証・維持管理補修サービス等ができること

②長期性能タイプ：基準性能タイプの基準に加え、長期優良住宅の認定基準（長期使用構造等の基準）の次の性能を有するシステム

- イ 劣化対策（等級3相当）
- ロ 耐震性能（耐震等級2以上 構造躯体の倒壊防止）
- ハ 維持管理・更新の容易性（維持管理対策等級3）
- ニ 省エネ対策（等級4）

3. 申請システムの審査結果

今回、申請のあったシステムについて、当センターに設置した審査委員会で審議した結果、平成28年7月1日付けで、更新で長期性能タイプ2システムを認定しました（別紙参照）。

問い合わせ先：公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
認証部 増村
TEL 03-5653-7581
FAX 03-5653-7582

第28A次 木造住宅合理化システム 認定リスト

■更新認定 長期性能タイプ

認定番号	認定システム名 ／認定取得者名	システムの概要	所在地 ／連絡先
L1307-01	システムTK-IV 竹内建設㈱	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要構造材の断面形状及び寸法を標準化することにより、加工の省力化及び施工の省略化を図っている。 2. 厚板の構造用面材による根太の省略により、施工の省力化及び工期の短縮化を図っている。 3. 木造住宅合理化システム認定規程による長期性能タイプの基準を満たしている。 4. 完成後の保全・維持管理体制が整っている 	北海道 011-851-2430
L1307-02	エアプレス工法Ver.5 ㈱大周建設	<ol style="list-style-type: none"> 1. 厚板の構造用面材による根太の省略により、施工の省力化及び工期の短縮化を図っている。 2. 基礎、壁、屋根などの断熱部材のパネル化によって、施工の均一化及び工期の短縮を図っている。 3. 木造住宅合理化システム認定規程による長期性能タイプの基準を満たしている。 4. 完成後の保全・維持管理体制が整っている 	神奈川県 045-892-4303